

つた
伝えよう
いのち
命の尊さ
ほとけ
佛の心
こころ

報 園 花 東 園

平成30年10月1日発行
139号
宗教法人東園寺

宗教法人 東 園 寺
〒985-0026 塩釜市旭町4-1
022(362)0777 寺務所
022(364)4444 寺FAX
022(362)8651 中央幼稚園

学校法人 東園寺学園
〒985-0012 塩釜市芦畔町13-51
022(365)5616 第二中央幼稚園

伊達綱村公300年遠諱記念行事続々開催！



伊達綱村公300年
遠諱記念特別展「伊達
綱村展」東北歴史博物
館にて10月6日より

仙台藩四代藩主であ
る伊達綱村は、いわゆ
る伊達騒動と呼ばれる
最大の危機を乗り越え
て仙台藩を発展させま

去る6月20日に三百年遠忌を
迎えた伊達綱村公の遺徳を偲
び、各所で記念事業が開催され
ます。塩竈の地で長年肯山公の
菩提を弔い業績を顕彰してきた
東園寺では積極的に各行事に協
力し、綱村公が行った寺社に対
する貢献や文化興隆に関する功
績を紹介して参ります。現在決
定している行事を次に掲載しま
す。是非ご参加頂ければ幸甚
と存じます。

した。また現在も信仰・文化の
拠点となっている多くの寺社
を建立・造営したほか、学問を
奨励し藩史編纂事業を行うな
ど文教の興隆にもつとめまし
た。没後300年を迎えるにあ
たり、政治・経済・文化の各方面
にわたって大きな影響を与え
た伊達綱村について、今に残る
関係文化財等によってその事
業を顕彰します。また、17世紀
後半、衰退していた塩竈の町が

伊達綱村の政策によって復興・
発展したことにより、今もなお
塩竈の人々は綱村を崇敬して
います。そのような、現在まで
受け継がれている地域とのつ
ながりについても取り上げて
いきます。

(東北歴史博物館HPより)

開催期間

平成30年10月6日(土)～12月2日(日)

開館時間

9時30分～17時

(発券は16時30分まで)

休館日

毎週月曜日(ただし、10月8日は
開館)、10月9日

観覧料

一般1000円

シルバー1900円

小・中・高校生300円

主催 東北歴史博物館

詳細は本紙8ページと東北歴史博物
館のホームページ等でご確認ください。

塩竈市主催記念行事

青山公三百年遠忌記念シンポジウム

「伝える伊達綱村公の思い」

10月20日(土) 13時30分～16時

(開場13時)

ところ

志波彦神社・鹽竈神社大講堂

1基調講演

13時40分～14時30分

演題

「歴史に学ぶ子孫へと伝える言葉」

講師 伊達泰宗氏

(伊達家三十四世

仙台伊達家十八代当主)

2パネルディスカッション

14時50分～16時

テーマ「伊達家と塩竈・鹽竈神社」

パネラー

佐藤憲一氏 (元仙台市博物館館長)

鍵 三夫氏 (志波彦神社・鹽竈神社宮司)

佐藤 昭氏 (塩竈市長)

千坂成也 (松巖山東園寺住職)

コーディネーター

斎藤善之氏(東北学院大学教授)

定員 150人

入場料 無料

申込締切10月5日(金)16時ま

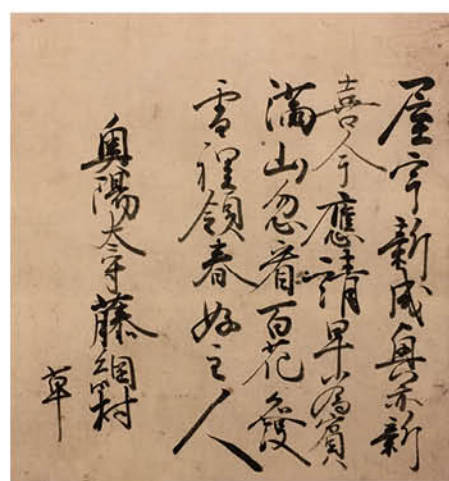
で申込方法等詳細は塩竈市

ホームページ、塩竈市市民だ

より等をご覧ください。

伊達綱村展

東園寺所蔵作品紹介



●綱村公自筆資料「芝多氏常春の饗を謝す」

(訓読)

屋宇新に成って、興も亦た新なり。

喜ぶ樂は、今、請に応じて、早に賓と為ることを。

満山、忽ち看る百花発するを。

雪裡に春を領す、好主人。

(解説)

綱村公の禅修行や漢詩を記録した『如幻三昧集』所載の真筆資料。同著によれば仙台藩

奉行芝多常春に与えられた

詩。芝多氏は旧姓柴田。その祖

先是柴田豊後常弘で常弘の姉

が政宗公の側室に迎えられ、

宗実(成実の養子となる)を産

むことで伊達家の外族とな

り、常弘も政宗公に仕えるこ

ととなった。常春は綱宗公に

寵愛され寛文年間に綱村公に

より芝多と改姓し、柴田郡村

田邑に三千石を領し、永代着

座に列した。

落慶の歓喜と初春の情が七

言絶句にて詠まれている。綱

村公33歳頃の作と思われる。



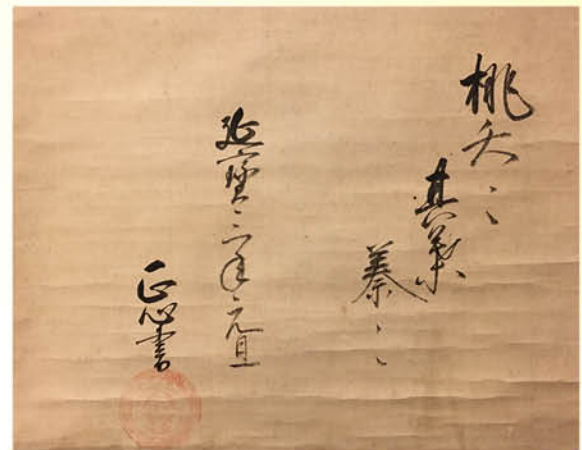
●「塩竈図屏風」

(解説)

江戸期の描かれた塩竈図屏風。東園寺には塩竈松島図屏

風が2双、塩竈のみの屏風が2隻、合わせて4種類の塩竈図が所蔵されていますが、この屏風にはこの中で最も古い塩竈の風景が描かれています。塩竈神社は現在の社殿以前の様式で貴船糺宮が描かれます。またこの絵には江戸期から今日まで法燈を護持する市内4ヶ寺が全て描かれています。

● 綱村公自筆資料「桃夭々」



桃夭々

其葉蓁々

延宝三年元旦

正心書

(解説)

延宝三年(一六七五)、綱村公十七歳の書。

綱村公はこの年、初入国する。印譜に「松平」「藤原」の文字が確認出来る。作品は『詩経』の「桃夭の一節を踏まえたもの。」

東海林恒英先生寄贈作品

「大年寺号並びに貞享特令」



作者藤塚知明

(一七三七・

一七九九)

伊達綱村公の

戒名に綱村公

が塩竈に下し

た貞享特令が記された作品。貞享特令は御舟入堀開通や火事等で疲弊した塩竈を救った御恵みの施策。詳しくは『お殿様のまちおこし』をご覧ください。多賀城市鈴木家寄贈作品

「お殿様のまちおこし」発行

同封した『お殿様のまちおこし』は東園寺・肯山講が綱村公の恩徳を後世に伝えるべく作成したものです。是非ご一読賜りますようお願い申し上げます。

同書は塩竈市教育委員会のご協力により、塩竈市内全小・中学生に配布されました。また伊達綱村展では全来場者にこの冊

子が配布されることになりました。この配布には志波彦神社・鹽竈神社様、株式会社白寿殿様にご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。





当山名誉総代阿部久壽翁を追悼する

去る7月17日東園寺名誉総代阿部久壽氏がお亡くなりになりました。氏は昭和60年に組織された東園寺大庫裏建設委員長として建築の計画から募財に到るまで先住精道和尚の片腕となって無事に平成元

年の落慶を成し遂げ、その後は東園寺花園会長として降誕会、成道会、涅槃会、開山忌などに積極的に参加され、多くの檀信徒の範となりました。また大本山妙心寺、さらにはハワイ開教院参拝などの旅行にも文字通りご随喜ご同行頂き、小柄としてもたくさんの思い出を共有することが出来ました。

27歳で先住職を喪った小納にとつては誰よりも頼もしい後ろ盾であり、氏の信仰の深さや寺社に対する真摯な姿勢は時に小納自身の心の鞭ともなりました。いくら言葉を尽くしても感謝の意を言い尽くすことは出来ませんが、生前のご厚情に心より感謝し、東園寺が真に檀信徒の方々に山内一同精進することをお誓い申し上げます。

東園寺副住職 月心秀學和尚遷化



去る8月22日東園寺副住職

大きな功績を残しました。

千坂秀學師が遷化致しまし

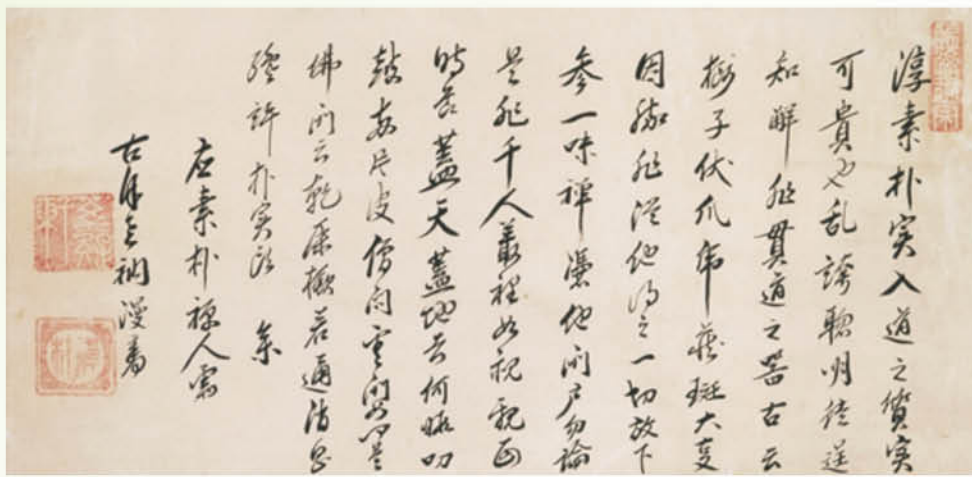
当山にあつては不昧堂建

た。師は東園寺十六代八世雪潭秀峰和尚の次男として誕生、花園大学、海清寺専門道場を経て滋賀県長勝寺住職に就任、平成18年に僧籍を東園寺に復して当山副住職となりました。師の真面目は茶道にあり、大学時代に久松真一博士の膝下^{とうか}に参じ茶の道を志し、瑞鳳寺先々住和尚のご縁を頂戴して裏千家に奉職、裏千家学園にあつてその才を発揮

し、長年にわたり『淡交』に禅語を茶道の立場から解説するコラムを執筆、その成果は『いっぽく拝見』『続いっぽく拝見』『十牛図く茶は限り無き道』という形で出版され、禅語の一般への周知という大きな功績を残しました。

立、本堂再建、さらには震災後の伽藍復興に大きな支援を寄せられると同時に、師の文化的な卓見はいつも大きな示唆を頂き、特に禅僧の書を意味する墨蹟に関する小納の知見は偏に師に負うものが多々あります。このような功績から去る9月25日秀學師に寺院葬を法類、親戚寺院、東園寺責任役員、花園会長、副会長ご臨席のもと厳修致しました。

最後に故人が東園寺に寄贈された墨蹟の中から、当山中興開山曹源祖水禪師の参禪の師である古月禪材禪師の法語を紹介し師の供養と致します。



淳素朴実入道之質実
可貴也乱誇聰明徒逞
知解非貫道之器古云

獅子伏爪爪藏斑大夏(事)

因縁非從他得之一切放下

参一味禪憑他門戸勿論

是非千人叢裡如視親面

時苦蓋天蓋地者何緬叨

鼓両片皮僧問雲門如何是

仏門云乾屎橛若通消息

纔許朴実頭 参

應素朴禪人需

古月老衲漫書

(解説)

古月禪師が素朴禪人という弟子に与えた書。禪の修行が知識を積み重ねるものではなく、自らが古人の禪問答を探求し、実体験を踏むことが肝要であることが説かれていいます。古月禪師らしいやや堅い書風で一文字一文字丁寧に書

かれています。書いている内容も併せて禪師の家風を如実に表す好資料であります。

樹木伐採

震災により多大な被害を受けた庫裏修繕の借入れが再来年完済します。檀信徒各位から納入頂いている維持費やお布施により遅滞無く返済が出来ていきますこと改めて感謝申し上げます。東園寺だけではなく伝統的な宗派の傘下にある寺院は大きな転換期にあると言えます。従来当たり前に実施されて来た葬儀や法事が当たり前に行われない時代になって来ています。幸いにして東園寺は多くの篤信の檀信徒に支えられています。人口減少に伴う檀信徒の減少は如何ともし難いところです。当山として一番の懸案は

墓地の管理です。まだ余裕があると思われるこの10年程の間に危険樹木や大木となる樹木の早期伐採や崖の補強を行うべきであると感じています。借金完済の暁には大規模に樹木伐採などを行なうつもりですが、取り敢えず今は資金に乏しいので私達僧侶が我々の手に負える範囲内の樹木を伐採しています。伐採した枝が空き地に寄せてありますが、自然に朽ちるよう放置するのが良いという樹木医のアドバイスによるものですのでご寛恕ください。

坐禅会

毎週 日曜日 朝7時

東園寺本堂地下
教化センターにて

参加無料 予約不要



遠足(第二)



始業式(第二)



造形教室(第二)



給食試食会(第二)



プール(第二)



英語教室(第二)



入園式(第二)



体育教室(第二)

塩釜中央幼稚園
塩釜第二中央幼稚園

平成31年度
園児募集中!

詳しくは幼稚園のホームページをご覧ください。



デザイン：
仙台ガールズプロレスリング
カサンドラ宮城選手

幼稚園だより

塩釜中央幼稚園・塩釜第二中央幼稚園



入園式(中央)



不動堂大祭(中央)



プール教室(中央)



花祭り子供大会(中央)



サッカー教室(中央)



坐禅(中央)



書道教室(中央)



始業式(中央)

これからの行事

どなたでもご参加頂けます！
是非東園寺にお越しください。

不動堂大祭・芋煮会

10月14日午前11時

東園寺別院不動堂のお祭りです。芋煮会を実施します。

どなたでも参加出来ますよ！
護摩祈祷500円

今年の寺宝展は歴博の綱村公特別展協力の為お休みします。

寺で婚活！寺コン14

心と呼吸を調えて！さあパートナーを見つけよう！

寺コンとは、お寺が行う縁結びの会です。「出会いが無い」「そろそろ身を固めたい」というあなた！お寺があなたの婚活をお手伝いします！

募集人数 男女各12名

結婚相手を真剣に探しておられる方

対象年齢 男女共 20〜39歳

日時 平成30年12月16日(日)

午後2時00分より

場所 東園寺

詳しくは東園寺ホームページでご確認を！

東北楽天ゴールデンイーグルス と田圃コーチ・トークショー！

今年度も実施予定です。

日程は11月中旬に確定します。東園寺ホームページ、公式facebookで確認の上、お申し込みください。

伊達綱村公300年遠諱記念 特別展

仙台藩四代藩主である伊達綱村は、いわゆる伊達騒動と呼ばれる最大の危機を乗り越えて仙台藩を発展させ、また現在も信仰・文化の拠点となっている多くの寺社を建立・造営したほか、学問を奨励し藩史編纂事業を行うなど文教の興隆にも努めました。没後300年を迎えるにあたり、政治・経済・文化の各方面にわたって大きな影響を与えた伊達綱村について、今に残る関係文化財等によってその事績を顕彰します。また、17世紀後半、衰退していた地域が伊達綱村の政策によって復興・発展したことにより、今も綱村を顕彰している地域があります。そのような現在まで受け継がれている地域とのつながりについても取り上げていきます。

展示構成

第1章 一幼君亀千代―後見人政治と伊達騒動―

第2章 綱村の親政

第3章 綱村の信仰・寺社の造営―

第1節 鹽竈神社―二度の造営―

第2節 大年寺―黄葉宗への傾倒―

第3節 善應寺―父の死後のため臨済僧との交流―

第4節 孝勝寺―母への思い・子への愛―

第5節 満勝寺―伊達氏始祖を顕彰する―

第4章 地域とのつながり―塩竈の復興と青山講―



東園寺碑拓本 安永五(1776)年六月二十日 東園寺蔵



伊達綱村 消息 東園寺蔵



扁額「覺皇寶殿」(旧大年寺) 慈雲寺蔵



東文 太刀 銘 東園光 鹽竈神社博物館蔵



伊達朝宗像 伊達古村草 満勝寺蔵

関連行事

◆記念講演会

10月14日(日)13:30〜15:00 | 於:3階講堂
「無垢の求道者 伊達綱村」 東海林恒美氏(元仙台市博物館長)

◆講演会と対談

◇第1回 11月11日(日)14:00〜15:30 | 於:3階講堂
講演「伊達綱村と神」 吉田道彦(塩竈寺住職)
対談「お殿様の御修行」 吉田道彦(塩竈寺住職)・千坂成也(東園寺住職)
◇第2回 11月17日(土)13:30〜15:30 | 於:3階講堂
講演「伊達正統世次考の考察―当主の諱を中心に―」 桐原昌道(満勝寺住職)
対談「伊達綱村と母君」 谷川日清(孝勝寺住職)・東海林恒美氏(元仙台市博物館長)

◆書道パフォーマンス

◇10月6日(土)14:00〜14:30 | 於:水上舞台
◇11月10日(土)11:00〜11:30 | 於:水上舞台
演者 聖ウルスラ学院美智書道部のみなさん

◆展示解説

毎週日曜日 11:00〜 | 於:特別展示室 解説:展示担当者
※特別観覧券が必要



交通案内
●JR線をご利用の場合
JR東北本線(国府多賀城駅)より徒歩約5分
JR仙石線(多賀城駅)より徒歩約25分またはタクシー約10分
●お車をご利用の場合
仙台市東区(仙台港北)から約10分 / 三陸自動車道(多賀城IC)から約5分
国道4号(仙台市)から国道45号を西進方向に約2.5分 / 仙台港フェリーターミナルから約15分
無料駐車場(191台・大型/小型)

東北歴史博物館

TOHOKU HISTORY MUSEUM

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1 Tel.022-368-0106 Fax.022-368-0105

http://www.thm.pref.miyagi.jp/

重文 機札(寛文三年) 鹽竈神社博物館蔵